

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

総務部県民課→事業実施：未来づくり推進局県民課（内線：7752）

1 目 一般管理費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県民参画基本条例(仮称)制定事業	0	1,936	1,936				1,936	
トータルコスト	0	17,912	17,912	(補正に係る主な業務内容) 検討委員会の開催、県民への情報提供 関係機関との調整等				
従事する職員数	0.0人	2.0人	2.0人					
工程表の政策目標(指標)	県民参画基本条例の制定及び各種参画制度の運用							

事業内容の説明

1 事業の概要

県民に開かれた県政の礎を確かなものにするため、情報公開、県民アンケート、住民投票制度などの基本を定める県民参画基本条例制定に向けて検討を行う。

<事業の進め方>

県民参画のための条例であることから、条例案の作成段階から、県民に積極的に情報提供・PRを行い、条例制定に向けて県民機運を醸成し、理解を得ながら進めていく。

- ① 県民への情報提供（検討委員会での検討内容等の周知）
- ② 検討委員会への公募委員の参画（学識経験者、県内NPO関係者、公募委員等を予定）
- ③ 市町村との調整（住民投票制度の事前調整）
- ④ 庁内ワーキンググループの活用（庁内関係課）
- ⑤ 検討期間：概ね2年間（平成24年度末を目標）

※平成23年度中に中間とりまとめ、平成24年度中に県民フォーラム等を予定。

2 主な事業内容

区分	所要額	事業内容
鳥取県民参画基本条例(仮称)検討委員会の設置	1,831千円	役割：条例素案の作成・検討 委員構成：学識経験者、県内NPO関係者、公募委員等10名程度 回数：年度内に4回を予定 (目標期日までに全7回程度)
県民機運醸成(PR)	105千円	検討開始時点から積極的な情報提供・PRを行い、機運を醸成。 ・県政だより、とりネット、新聞広報等
計	1,936千円	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・住民が直接的に県政に参画する機会・手段として、パブコメや県民アンケートなどを実施。
- ・しかし、いずれも法令に基づく制度ではなく、その実施は行政側の判断によっているところ。
- ・情報公開、パブコメ、県民アンケートなど従来の手法を県民参画の手法として条例に位置づけるとともに、より直接的な県民参画の手法として、新たに住民投票制度の導入を含めて検討する。

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

業務効率推進課（内線：7612）

2目 人事管理費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 事業棚卸し実施事業	0	1,797	1,797				1,797	
トータルコスト	0	4,992	4,992	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.4人	0.4人	事業棚卸しの実施				
工程表の政策目標（指標）	将来ビジョンの実現に向け、既存事業の見直し及び集中と選択による一層の経費削減を図る							

事業内容の説明

1 事業の概要

サマーレビューや工程表の作成・運用といった「内部の視点」による予算事業の点検・評価に加え、「外部の視点」による点検として外部有識者等を評価者に加えた事業棚卸しを公開で実施する。

2 主な事業内容

評価者	[構成] ・外部有識者 各分野（農林水産、商工、文化、福祉など）、各地域（市街地、過疎地）等から性別が偏らないよう多様な人材を選定 ・県民委員 県民に開かれた事業棚卸しとなるよう県民委員を公募 ・市町村職員
対象事業	評価者会議で検討 ・十分な議論ができる時間の確保を考慮しながら、公開の議論において検討を行うことが適当と思われる事業を選定
実施方法	・各所属からヒアリング（インターネットによる同時配信） ・最終まとめ、公表 ⇒ 予算編成に反映
所要経費	外部有識者や県民委員への報償費、特別旅費 1,797千円

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 22年度は、外部有識者・県民委員を評価者に加え、インターネットによる公開で実施

- ・評価者：2チーム編成（1チーム8名：県職員含む）
- ・対象：30事業  
 抜本的見直し（廃止を含む）を検討する事業：9事業  
 引き続き県で実施するが改善等を提案する事業：21事業

(2) 23年度の主な見直し・改善点

- ・事業を公平・客観的かつ県民視点で評価するため、外部有識者と県民委員を中心とした評価チームを編成する。
- ・事業の重複等の観点から、類似事業を一群の制度として棚卸すことを検討する。
- ・分かりやすい評価・判定となるよう、評価区分を工夫する。
- ・事業選定段階から評価者の意見を取り入れる。

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

情報政策課（内線：7614）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
（新）情報通信技術利活用戦略検討事業	0	565	565				565													
トータルコスト	0	565	565	（補正に係る主な業務内容）																
従事する職員数	0.0人	0.0人	0.0人	講演会開催、懇談会設置運営																
工程表の政策目標（指標）	—																			
事業内容の説明																				
<p><b>1 事業の目的・概要</b></p> <p>昨年度までに県内全域におけるブロードバンド環境が整ったものの、県民による利活用は十分になされていない状況にある。</p> <p>県民サービスを提供する各所属は、ICTを活用すれば解決できる課題であったとしても、その解決策に繋がる情報を持ち合わせておらず、より効果的な施策に結びついていない。</p> <p>そのため、専門家による講演会を実施し、各所属にICTを利活用した課題解決への「気付き」を啓発すると共に、一般県民や有識者を含む懇談会を設置し、県民サービス向上のための情報通信技術利活用戦略を検討するものである。</p>																				
<p><b>2 主な事業内容</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 30%;">予算額</th> <th style="width: 40%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有識者懇談会</td> <td>386千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>179千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>565千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	備 考	有識者懇談会	386千円		講演会	179千円		合計	565千円	
区 分	予算額	備 考																		
有識者懇談会	386千円																			
講演会	179千円																			
合計	565千円																			

平成23年度一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

協働連携推進課 → 事業実施：鳥取力創造課（内線：7071）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）鳥取力創造運動推進事業（新しい公共の場づくりのためのモデル事業）	0	21,733	21,733			(基金繰入金) 21,733		
トータルコスト	0	21,733	21,733	(補正に係る主な業務内容) 国交付金を活用した				
従事する職員数	0.0人	0.0人	0.0人	「新しい公共」モデル事業の実施				
工程表の政策目標(指標)	多様な活動を行う様々な主体が自主的かつ連携して地域づくりに取り組む社会を実現する							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

NPO等と地方自治体との協働により地域の諸課題解決を目指すモデル事業に対して支援を行うことにより、NPO等の自立的活動の促進及び「新しい公共」の拡大と定着を図る。

※国の平成22年度「新しい公共支援事業交付金」を活用（鳥取県分は、平成23年2月補正で平成23・24年度の2年間分1.19億円を鳥取力創造運動推進基金に積み立て済み）。

※「新しい公共」とは、「行政」だけではなく、市民、NPO、企業等が積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、教育、子育て、まちづくり、介護や福祉等の身近な分野において共助の精神で行う仕組み、体制、活動など。

2 主な事業内容

事業期間：平成23年7月～25年3月（23年度末に継続実施を審査）

（単位：千円）

モデル事業名	実施主体	予定額	うちH23	うちH24	事業概要
とっとり木育・木装推進事業	とっとり木育・木装推進協議会	7,000	4,100	2,900	暮らしの中で木を使うこと(木装化)を通じ、都市住民や子供たちが森を健全にし山村を元気にする活動に参加しやすくすることや、木材加工を担う福祉作業所の就業機会の創出を図る。
非施設型病児・病後児保育システム事業	非施設型病児・病後児保育運営協議会(仮称)	9,000	4,820	4,180	保育のベテラン又は専門家が「自宅で預かる」病児病後児保育システムを導入し、保護者の負担軽減と保育環境の充実を図る。
半業ビジネスによるライフスタイルの再構築事業	智頭町山村再生推進協議会	6,000	3,000	3,000	山村社会における「小さな業」(半業)に着目し、収入源の確保や住民参画の運営システム確立により、田舎暮らしの価値観再認識と都市交流・移住定住促進を図る。
海藻農法による農業再生プロジェクト	海藻農法普及協議会	8,000	4,940	3,060	中海の海藻資源等を原料とした特殊肥料を使用する「海藻農法」により、中海の環境改善と農業の再生等を図る。
鳥取キュレーション・サイト事業 (総合的情報収集・発信ウェブサイトの構築)	鳥取キュレーション・サイト運営協議会(仮称)	4,000	2,580	1,420	鳥取県東部圏域のイベント等募集・告知情報を一元化して収集・発信を行う。
所有者不在村の森林管理制度構築	にちなんの森林資源を育てる会議(仮称)	5,000	2,293	2,707	効率性の高い森林施業を行うため、効果的な制度設計と不在村森林所有者対策としての意識啓発を行う。
計		39,000	21,733	17,267	

【参考1】モデル事業の募集・選定について

応募資格者：①県内行政組織(市町村、県等) ※NPO等との連携が必須

②NPO等と県内行政組織を構成員に含む団体(協議会等)

募集：平成23年3月19日～4月18日 → 9事業(団体)の応募

審査会(民間有識者等で構成)：平成23年4月22日 → 6事業(団体)を選定

【参考2】新しい公共支援事業として、モデル事業(今回)のほか基盤整備事業(相談窓口の設置等；当初予算措置済み)を実施。

## 平成23年度 一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取大学連携事業『東日本大震災「フッペル平和祈念コンサート」』	0	480	480				480	
トータルコスト	0	480	480	(補正に係る主な業務内容) 補助金交付事務				
従事する職員数	0.0人	0.0人	0.0人					
工程表の政策目標(指標)	上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東日本大震災で被災された方々を音楽を通じて激励するフッペルピアノコンサートを、鳥取県西部地震の被災復興地である日南町及び鳥取市において、鳥取大学と協働で実施し、被災地の一日も早い復興を祈る。

2 主な事業内容

フッペルピアノコンサート実行委員会への補助金 480千円

(全体事業費 960千円 うち 県 480千円 鳥取大学 480千円)

(1) 主催 フッペルピアノコンサート実行委員会・日南町

(実行委員会事務局：鳥取大学)

(2) 後援 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター、鳥取県、鳥取市

(3) 公演概要 第二次世界大戦と関わりの深い日南町の「フッペルピアノ」を活用したコンサートを、広島原爆記念日（広島平和記念日）と終戦記念日に開催する。

(4) 開催日等

ア) 鳥取公演

開催日	平成23年8月6日（土）
開催場所	鳥取市内
入場予定者数	約500人

イ) 日南公演

開催日	平成23年8月15日（月）
開催場所	日南町内
入場予定者数	約450人

※両公演とも入場料は無料だが、鑑賞者から義援金を募り、被災地の復興支援を呼びかける。

〈参考〉フッペルピアノとは

ドイツ製のグランドピアノで、小さな町の工房で製作されたことから大量生産はされず、「ピアノの名器」と呼ばれる貴重なピアノ。

佐賀県の鳥栖国民学校にあった同ピアノを出撃前の特攻隊員が弾いたことで知られ、これまで国内で二台の現在が確認されていたが、2005年に日南町立日野上小学校でも三台目となるフッペルピアノが見つかった。

このピアノには、日野上国民学校の青年教師が戦艦大和で出征した際に、「感激の征途」という詞を書き、これに同僚の教師が曲を付けて歌ったというエピソードが残されている。

平成23年度 一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

長寿社会課 (内線：7175)

4目 老人福祉費

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)介護支援ボランティア制度導入支援事業	0	2,200	2,200			(基金繰入金) 2,200		
トータルコスト	0	2,200	2,200	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.0人	0.0人	研修実施、ガイドライン作成、先進事例調査				
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明 【「介護基盤緊急整備等臨時特例基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

市町村へ介護支援ボランティア制度の導入促進を図り、実施する市町村に対して、国の介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用して、制度の導入・立上げの支援を行う。

【介護支援ボランティア制度とは】

- ボランティア登録をしている高齢者が、ボランティア活動の登録施設で行った活動に対して、実績を勘案してポイントを付与し、その高齢者の申出により、当該ポイントを換金して、翌年度の介護保険料の支払いに充てることができる制度。(実質的に介護保険料との一部相殺をすることが可能となる仕組み)
- ボランティア活動を通じた介護予防の推進、高齢者の生きがい・やりがいの増進等を目的として、全国の市町村で当該制度の導入が進み始めている。

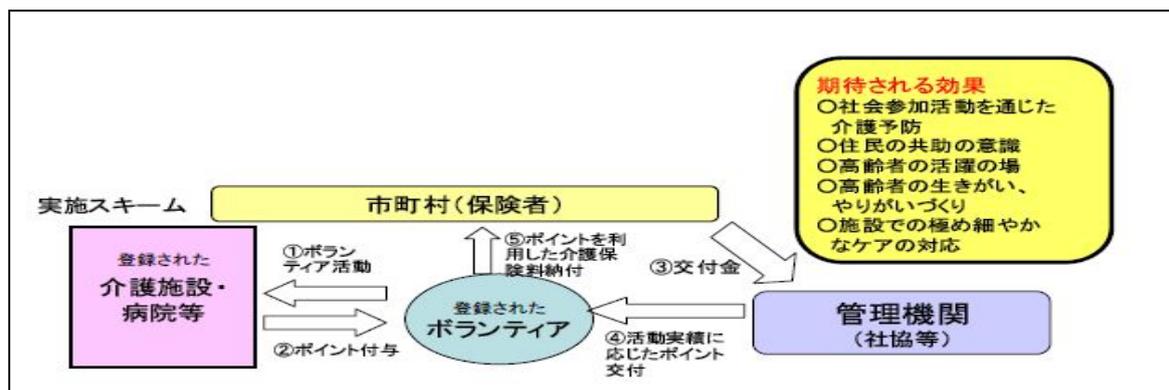
(参考)

県内：平成23年度から日南町で実施。その他2～3市町村で取組みを検討。  
全国：47市町村が実施中。

2 主な事業内容

(単位：千円)

項目	補正額	内容
研修会の開催	695	○先進市町村の担当者を招いての講演 ○県内市町村の取組みを紹介 ○導入に関しての意見交換 等
ガイドラインの提示	400	○介護支援ボランティア制度の実施に参考となるガイドラインを作成し、市町村へ配布する。
先進地調査	1,105	○先進市町村について、福祉保健局、検討市町村等と共同で調査し、取り組みの促進を図る。 <視察予定地>東京都稲城市、香川県小豆島町
合計	2,200	



平成23年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費  
4項 林業費  
2目 林業振興費

森林・林業総室（内線：7335）  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
(新) 企業と協働で歩む森林 活用術推進事業	0	1,986	1,986				1,986																			
トータルコスト	0	4,382	4,382	(補正にかかる主な業務内容)																						
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人	イベントの実施等																						
工程表の政策目標(指標)	「とっとり共生の森」への企業参画推進																									
事業内容の説明																										
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 環境先進県としての取り組みとして、「とっとり共生の森」「企業への森林J-VERの販売」などの先進的な森林活用術の情報発信と、企業との協働による森林活動を推進することにより、「県民参加の森林づくり」への気運を高めるとともに、平成25年に本県で開催する全国植樹祭に向けて県民の意識高揚を図る。</p>																										
<p><b>2 主な事業内容</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">「とっとり共生の森」 協働サポーター制度 の創設</td> <td colspan="2">県民から「とっとり共生の森」サポーターを募集し、とっとり共生の森の活動を企業や団体と共に行う。</td> </tr> <tr> <td>サポーターの区分</td> <td>活動内容</td> </tr> <tr> <td>活動サポーター(白うさぎ大使) ※親子、小学校PTA、地区こども会等</td> <td>「とっとり共生の森」参画団体が行う活動や「とっとり共生の森県内企業連合体」の活動に参加</td> </tr> <tr> <td>運営指導サポーター ※木工クラフト製作者、ネイチャーゲーム指導者、森林セラピスト等</td> <td>「とっとり共生の森」参画団体が行う活動を支援</td> </tr> <tr> <td>「とっとり共生の森・県内企業連合体」の活動</td> <td colspan="2">県内の企業や団体が一同に集まり、森林の保全整備や社会貢献等を目的に、植樹等の森林保全活動を行う。(とっとり出合いの森)</td> </tr> <tr> <td>シンポジウムの開催</td> <td colspan="2">企業等の先進的な森林活用術の事例発表や基調講演「これからの企業の森林活用術の展開(仮題)」、県産材のPRを行う「とっとり木づかい展(仮称)」を開催する。</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容		「とっとり共生の森」 協働サポーター制度 の創設	県民から「とっとり共生の森」サポーターを募集し、とっとり共生の森の活動を企業や団体と共に行う。		サポーターの区分	活動内容	活動サポーター(白うさぎ大使) ※親子、小学校PTA、地区こども会等	「とっとり共生の森」参画団体が行う活動や「とっとり共生の森県内企業連合体」の活動に参加	運営指導サポーター ※木工クラフト製作者、ネイチャーゲーム指導者、森林セラピスト等	「とっとり共生の森」参画団体が行う活動を支援	「とっとり共生の森・県内企業連合体」の活動	県内の企業や団体が一同に集まり、森林の保全整備や社会貢献等を目的に、植樹等の森林保全活動を行う。(とっとり出合いの森)		シンポジウムの開催	企業等の先進的な森林活用術の事例発表や基調講演「これからの企業の森林活用術の展開(仮題)」、県産材のPRを行う「とっとり木づかい展(仮称)」を開催する。	
区分	内容																									
「とっとり共生の森」 協働サポーター制度 の創設	県民から「とっとり共生の森」サポーターを募集し、とっとり共生の森の活動を企業や団体と共に行う。																									
	サポーターの区分	活動内容																								
	活動サポーター(白うさぎ大使) ※親子、小学校PTA、地区こども会等	「とっとり共生の森」参画団体が行う活動や「とっとり共生の森県内企業連合体」の活動に参加																								
	運営指導サポーター ※木工クラフト製作者、ネイチャーゲーム指導者、森林セラピスト等	「とっとり共生の森」参画団体が行う活動を支援																								
「とっとり共生の森・県内企業連合体」の活動	県内の企業や団体が一同に集まり、森林の保全整備や社会貢献等を目的に、植樹等の森林保全活動を行う。(とっとり出合いの森)																									
シンポジウムの開催	企業等の先進的な森林活用術の事例発表や基調講演「これからの企業の森林活用術の展開(仮題)」、県産材のPRを行う「とっとり木づかい展(仮称)」を開催する。																									
<p><b>3 これまでの取組状況・改善点</b> 本県の森林資源を利活用した取り組み(とっとり共生の森、県有林J-VERの活用)は企業・団体にとって、イメージアップや販売増大などの利点があるほか、県民にとっては、森林環境の整備や地域の活性化等様々な恩恵をもたらしている。 平成25年の全国植樹祭に向けて「県民参加の森林づくり運動」の気運を高めるために、県民が活動を身近に感じられるような取り組みを行う。</p>																										

平成23年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

1項 土木管理費

1目 土木総務費

技術企画課 (内線: 7407)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
鳥取版河川・道路ボランティア促進事業 (スーパーボランティア活動促進事業)	47,461	10,300	57,761				10,300													
トータルコスト	65,035	10,300	75,335	(補正に係る主な業務内容)																
従事する職員数	2.2人	0.0人	2.2人	事業実施箇所の選定、工事発注、団体との調整、発表会の実施																
工程表の政策目標(指標)	ボランティア活動の拡大、地域づくり活動の支援																			
事業内容の説明																				
<p><b>1 事業の目的・概要</b></p> <p>河川・道路などの公共空間の維持管理と併せてその空間を活用して地域づくりや賑わい創出に貢献するボランティア活動(スーパーボランティア活動)を支援することにより、地域活力の活性化を目指す。</p> <p>さらにこうした活動が広く県内で展開されるよう、従来の支援内容の充実、ボランティア団体間での情報交換・交流促進、また支援すべきボランティア団体の掘り起こしを行う。</p>																				
<p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 環境整備費 10,000千円</p> <p>スーパーボランティア活動に取り組みやすくするため、河川敷の伐木・除根、道路植栽柵の整備等、活動の場となる公共空間の初期的な環境整備を行う。</p> <p>なお、その後の維持管理は、ボランティア団体が実施する。</p> <p>(環境整備の例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活用場所</th> <th>活用方法</th> <th>整備の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河川敷</td> <td>川遊び体験、環境教育等</td> <td>伐木・伐開、整地</td> </tr> <tr> <td>道路(歩道等)</td> <td>花づくり活動、観光振興等</td> <td>植栽・植栽柵の設置又は撤去</td> </tr> <tr> <td>公園等</td> <td>イベント、交流会等</td> <td>利用しない設備の撤去、小修繕、整地</td> </tr> </tbody> </table>									活用場所	活用方法	整備の内容	河川敷	川遊び体験、環境教育等	伐木・伐開、整地	道路(歩道等)	花づくり活動、観光振興等	植栽・植栽柵の設置又は撤去	公園等	イベント、交流会等	利用しない設備の撤去、小修繕、整地
活用場所	活用方法	整備の内容																		
河川敷	川遊び体験、環境教育等	伐木・伐開、整地																		
道路(歩道等)	花づくり活動、観光振興等	植栽・植栽柵の設置又は撤去																		
公園等	イベント、交流会等	利用しない設備の撤去、小修繕、整地																		
<p>[従来の支援内容: 継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理交付金(河川道路等 40円/㎡ 植栽柵 500円/㎡)</li> <li>・簡易な土木施設設置補助金(材料費、機械器具費等 500,000円)</li> </ul>																				
<p>(2) 活動事例発表会・交流会(シンポジウム等) 300千円</p> <p>スーパーボランティア活動の一層の推進を図るため、その活動内容を他のボランティア団体や県民に広く周知させるとともに、活動団体相互の交流・連携の場を提供する。</p>																				
<p>(3) ボランティア団体の掘り起こし</p> <p>河川・道路ボランティアの窓口である各総合事務所県土整備局と県民局(地域振興担当)、市町村との連携を強化し、活動の掘り起こしを行う。</p>																				
<p><b>3 これまでの取り組み状況、改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度に河川・道路など別々に行っていた支援制度を統合し、使いやすい制度にした。</li> <li>・平成22年度に意欲的な活動を行う8団体とスーパーボランティアの協定を締結し、地域の賑わいづくりの手法の一つとしてモデル的な活動の支援を行った。</li> </ul>																				

